

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	身体拘束をしないケアの実践 入院中、つなぎ服を着用していた方が退院され、ご家族は「迷惑をかけるからつなぎ服を着せて欲しい」と言われる。「つなぎ服の着用は身体拘束に当たる」ことを説明し、ご納得いただいたが、ご家族の心情や衛生面のこと等が課題となる。	利用者様ご本人の立場に立ち、安全で快適にすごせるような支援に向けて、衛生面等もふまえ、原因や傾向を探り、ご家族様や利用者様にとっていい方向にすすむよう、ご家族様にも参加していただいて一緒に考えて取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の心情を考え、つなぎ服や不衛生行為についての話し合いを持つ。 ・利用者様が、どんな時に行動（不衛生行為等）をされるか、原因・時間等把握する。 ・原因・傾向等を把握したら、ご家族様と一緒に解決方法を探り実行する。 ・実行するうえでも、不衛生行為があった場合にそなえ、衛生上の勉強会をし、病気等にならないよう配慮する。 	1 2 か月	
2	49	日常的な外出支援 利用者様の身体レベルの低下や体調の差により、遠出することや全員で外出することが難しくなっている中で、出来る限り利用者様おひとりおひとりの希望に添うことが大切になる。グループホームはこうでないとならないという、根拠のない常識にとらわれず、行動することが課題となる。	利用者様は日々体調が変化され、生命力が弱っている方もおられる。“次”の機会は難しいかもしれないと思って、その時その時のご利用者様の気持ちに添えるように、出来るかぎり柔軟に行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様との、日々のなにげない会話の中にある希望を聞き逃さないようにする。 ・利用者様のしたいこと行きたいところなど、お聞きできたら、なるべく早く話し合いをもち実現できる方法を探り計画をたてる。 ・ご家族様等に声かけさせていただき、柔軟に実行に移す。 	1 2 か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(3月の運営推進会議で利用者家族と出席していただいている方に、評価結果を報告し、内容について話しあいます。)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()